

## 臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学（病院）では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。

研究課題名	正視と軽度近視の単焦点眼内レンズ挿入眼における全距離視力と両眼加算効果
研究機関名	金沢医科大学病院
研究責任者	金沢医科大学病院 医療技術部 心身機能回復技術部門 視能訓練士 中津川 宥衣
研究期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2022 年 3 月
対象者	2012年12月から2019年2月に金沢医科大学病院で白内障手術を受け、手術の1カ月後に30cmから5mの視力検査、瞳孔径測定、屈折検査を受けた方
当該研究の意義・目的	白内障手術後に近方30cmから遠方5mまでの全距離視力を検討することは白内障手術の術後視機能の向上において重要です。通常の眼科検査の視力は片眼で評価をしますが、日常生活は両眼開放下であるため、片眼の視力と両眼開放時の視力を評価する必要があります。両眼加算とは、単眼ずつの視力と両眼の視力の差のことであり視機能評価の一つとして用いられていますが、屈折値と瞳孔径が両眼加算にどのように影響を及ぼすかどうかの詳細は不明です。白内障手術後に単焦点眼内レンズ（IOL）を挿入した方を対象に近見視、中間視、遠見視における視力の両眼加算を検討することにより、屈折値と瞳孔径がどのような条件下で両眼加算が最も得られるかを検討することを目的としています。
方法および研究で利用する試料・情報について	本研究は診療録から眼所見（主に白内障）、全距離視力、屈折値、瞳孔径を取得し、片眼ずつの視力から両眼加算効果を評価し、さらにその影響因子について解析します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。上記期間中に得られた検査データなどを本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記のとおりです。お問い合わせ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 眼科 視能訓練士 中津川 宥衣 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511（2211）内線（7301）

作成日： 2019年8月26日